

妊娠時周産期の グリーフ(悲嘆)ケア の充実について



大塚 正義 議員

質問…晩婚、晩産化の進展で不妊治療を受ける人が増える一方、流産や死産を経験した女性が適切なケアを受けられずにいる現状を受け、厚生労働省が支援強化に乗り出しました。不妊治療支援の一環として、流産や死産を経験した女性も母子保健法上の支援対象であるとし、また支援に当たって乳幼児と同じ場所でのケア事業を行うと、子供を

失った女性が精神的に負担を感じることから、適切な配慮をするよう要請にもなりました。そこで、大田原市のグリーフケアの取組や施策について伺います。

個別に相談支援をしています。今後は、子育て世代包括支援センターを核とし、個別による支援を継続すると共に、地域で活動される助産師など関係職種、関係機関と連携を図りながら取り組んでいきます。

一般質問



鈴木 隆 議員

コロナ禍における児童生徒の健康・体力向上などについて

質問…児童生徒が接種を受けやすくなる工夫や出欠の扱い、接種の有無による差別やいじめが起きないような指導の徹底等について伺います。

答弁…ワクチン接種について、担任または学校から進んで受けるようにという指導はしていません。遠くへ行けない、なかなか都合がつかないという場合に、学校、授業を休んで行くときは

出席停止の取扱いで欠席とはなりません。子供たちの差別は絶対あってはならないことで、学校教育、あらゆる活動を通して差別、偏見がないように十分指導してまいります。

質問…学校給食による健康・体力向上について伺います。

答弁…学校栄養士が学校給食摂取基準に沿って標準献立を作成し、七夕等の行事食や地産地消

の日を設けるなど工夫を凝らしています。各家庭には給食だよりを毎月発行し、毎日の献立をお知らせするほか、家庭の食事での食品の選択や栄養についての知識の普及を行っています。今年度はオリンピックの開催を背景にスポーツ栄養をシリーズ化し、児童生徒の健全な成長や体力の向上について、家庭への情報発信や啓発を行っています。